

JENESYS2016（派遣プログラム）
（派遣国：ミャンマー連邦共和国/ 大学生）の記録

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラムの一環として、ミャンマーに関心を有する日本の大学生および引率者 22 名がミャンマーへ派遣され、日本の経済、産学、歴史、自然、文化に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、12 月 13 日から 12 月 21 日までの 8 泊 9 日の日程でプログラムを実施しました。まず、参加者は、大使館への表敬訪問、JICA 現地事務所訪問、および ODA サイト視察により、日本とミャンマーの関係を理解しました。次に、現地の大学 2 校と交流し、在住地域の魅力、高度な技術、クールジャパン等の発表と、伝統文化（習字と着物）の体験を含めた実演等、工夫に富んだ内容を披露し、現地学生は、日本の魅力・強みへの理解と関心を深めました。また、ホームビジットや市内視察により、ミャンマーの生活や文化を理解しました。更に、日系企業訪問により、民間レベルの経済関係を把握しました。プログラムを通して多くの刺激を受けた参加者は、各々の気づきや体験について SNS を通じて対外発信を行いました。また、帰国前報告会では、派遣地での気づきと経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）を発表しました。

【参加校・人数】

静岡県公立大学法人 静岡県立大学 22 名

【訪問国】

ミャンマー連邦共和国

2. 日程

- 12月13日（火） **【オリエンテーション】**
成田空港より出発 — ヤンゴン着
- 12月14日（水） **【表敬訪問】** 在ミャンマー日本国大使館
【訪問】 JICA ミャンマー事務所
【ODA サイト視察】 ミャンマー日本人材開発センター（MJC）
- 12月15日（木） **【学校交流】** ヤンゴン大学
- 12月16日（金） **【学校交流】** ヤンゴン経済大学
- 12月17日（土） **【ホームビジット】** ヤンゴン経済大学生宅
- 12月18日（日） **【市内視察】** バゴー市内、ヤンゴン市内
【伝統文化見学】 素焼き工房、機織り工房
- 12月19日（月） **【企業訪問】** Oji GS Packaging (Yangon) Co., Ltd.（段ボール工場視察）
【ワークショップ】
- 12月20日（火） **【報告会／昼食歓送会】** ヤンゴン発
- 12月21日（水） 成田空港到着

3. プログラム記録写真

	
<p>12/14 【訪問】 JICA ミャンマー事務所 【Visit】 JICA Myanmar Office</p>	<p>12/15 【学校交流】 ヤンゴン大学 【School Exchange Program】 University of Yangon</p>
	
<p>12/16 【学校交流】 ヤンゴン経済大学 【School Exchange Program】 Yangon University of Economics</p>	<p>12/17 【ホームビジット】 【Home Visit Program】</p>
	
<p>12/18 【市内視察】 バゴー市内 【Observation of City】 Bago</p>	<p>12/20 【報告会】 【Reporting Session】</p>

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 静岡県公立大学法人 静岡県立大学

日本は教育レベルが高く、技術面でも優れています。一方、ミャンマーは遅れている部分も多くありますが、まじめな国民性を考えると、将来日本に追いつく国になると思います。日本人は閉鎖的にならず、変化している世界の問題点に気づき、異文化を理解することにより、自国の良い点をさらに発見し、発信し続ける事が大切だと思います。

◆ 静岡県公立大学法人 静岡県立大学

ミャンマーの学生は日本への関心が高く、英語が堪能で、自国の歴史にも詳しく、また、親切で温かい国民性だと思いました。現地で体験することにより、日本では気づかない多くの事に気づきました。現地を訪問することは大切だと思いました。一方で、日本の食事、生活、設備、衛生、環境の良さなどに気づき、日本の良さを伝えることができました。今後は快適な環境に甘んじることなく、より一層勉学や社会活動に尽力していきたいと思っています。

◆ 静岡県公立大学法人 静岡県立大学

ミャンマー人は穏やかで、親切で、親しみやすい国民性であると思います。デパートで財布を落とした時、盗まれずにそのまま帰ってきて驚き、一瞬、ここは日本かと思ったほどです。大学訪問で知り合った学生たちとはこれからも交流を続けていきたいと思っています。また、自分の専門的観点(経営学・企業の国際比較)から、ミャンマーの今後の国際競争力強化の方法と、女性の社会進出に興味を持ちました。国際競争力強化に関してミャンマーが独自の方法で努力をしていること、女性の社会進出に関しては、日本以上に進んでいる状況を知り、これは、日本がミャンマーに見習うべき点であると思いました。

5. 受入れ側の感想

◆ ヤンゴン大学の学生

日本の学生達はとても親しみやすく、優しく、また、優秀でした。私は、発表や実演を通じて日本の沢山の文化を知ることができました。発表や実演が大変よく工夫されていて、私達は飽きずに最後まで熱心に聞き、また、積極的にこの交流プログラムに参加しました。今回訪問してくれた学生達のおかげで、日本をもっと好きになりました。

◆ ヤンゴン大学の学生

日本人学生とは 2 回目の交流でしたが、今回は専門分野が同じ学生だったので、大変有意義でした。日本の事をたくさん知ることができ、同時に、ミャンマーの事、特に、食べ物、生活スタイル、そして宗教を紹介することができました。このような貴重な機会を頂き、とても感謝しています。

◆ ヤンゴン経済大学の学生

このプログラムを通じて日本の多くの魅力や強みを知ることができました。例えば、輸送システム、生産物、有名な観光地等です。また、日本の文化(着物、習字、お茶)や高度な技術(新幹線や企業の物づくり精神)、マネジメントシステム等に関する事も知ることができました。このようなプログラムにより日本とミャンマー間の理解と友情が更に深くなると信じています。

6. 参加者の対外発信

	
<p>【ホームビジットについての発信】 ホームビジットでミャンマーのおもてなしとミャンマーの生活、ミャンマーの文化を体験し、大変貴重な一日！ミャンマー語を教えてください、自己紹介。ホストファミリーに感謝！</p>	<p>【ヤンゴン大学との学校交流についての発信】 ヤンゴン大学との学校交流。みんなとても優しくかった。今日会ったみんなに心から感謝！</p>
<p>【Home Visit】 We had a very valuable day through experiencing hospitality and life in Myanmar, culture of Myanmar. We learnt Burmese and made self introduction. Thank you very much to my host family!</p>	<p>【School Exchange with University of Yangon】 Everybody was very gentle and kind. Thank you very much, all students I met today!</p>

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

	
<p>【アクション・プランの発表（国際関係学部）】 情報共有のために、1) SNS を活用して静岡の魅力を発信、2) ミャンマー派遣報告会開催、3) 身近な人と派遣経験を共有、4) ミャンマーの友人と交流を継続、5) ミャンマー派遣報告書作成</p>	<p>【アクション・プランの発表（経営情報学部）】 1) ミャンマー派遣報告会を静岡県立大学内で実施、2) 報告会の様子を英語で YouTube や Facebook 上で発信、3) ミャンマーの友人と交流を継続。</p>
<p>【Action Plan (School of International Relations)】 To share Japan with the world, 1) use SNS for sharing Shizuoka, 2) hold a presentation session about this program, 3) share experiences with close persons, 4) keep in touch with Burmese friends, 5) make a report of this program</p>	<p>【Action Plan (School of Management and Information)】 1) hold a presentation session about this program, 2) Disseminate the presentation session through YouTube and/or Facebook in English, 3) Keep in touch with Burmese friends</p>